

Information on entering university for students and their parents

TOSHIN TIMES

8/15
トーシンタイムズ
2007年8月15日号
毎月2回(1日・15日)発行



「部活動を引退しました」って英語で何？

答えはP.2で!

Take it step by step and you'll go far!

CONTENTS

Find intercultures all over the world!	02
異文化発見! ~台湾(Taiwan)・文化編~	
An analysis from a come-from-behind candidate	03
~Tokyo University of Science~	
逆転合格者を徹底解剖:東京理科大学編	
English Crossword puzzle	04
英語でクロスワード(crossword puzzle)	
News in English-no preparation necessary!!	04
手ぶらで英語ニュース(news)!!	

毎月15日に発行する『TOSHIN TIMES』では、全国の大学情報の中から「これは!」という最新情報やおもしろい情報をお知らせ(choise)してお届けします。英字新聞の要素を取り入れた見出しで、実用英語を身につけながら進学情報を取り入れられるつくりになりました。



写真:東京理科大学 神奈川キャンパス(campus)

Universities announce the 2008 entrance exam guidelines for applicants

各大学、2008年度入試要項を続々発表!

現在の高校3年生が受験する2008(平成20)年度の入試要項が、各大学から続々と発表されている。国立大学の新たな後期日程の廃止や私立大学でのセンター試験(center exam)利用入試の導入など、昨年度とは選抜方式が異なる大学も多い。

まず東京大学では、センター試験(center exam)のリスニングテスト(listening test)の得点を後期試験のみに利用することが発表された。このほかにも北海道大学の獣医学部が前期20名、

後期20名と募集人員が均等に変更、東北大学の4学部で新たに後期日程を廃止することなどが発表されている。

中央大学の理工学部では、センター試験(center exam)にプラス(plus)して理科と数学で独自の記述式試験を課す「理数選抜入試」が発表された。

入試要項は各大学のホームページ(web page)で見ることができる。なお、出願手続きや詳細が記載されている「募集要項」は11月上旬から各大学の公表、配布が始まる。

Geography, history and civics may be merged together as one subject in the center exam

センター試験(center exam)、「地歴」「公民」統合へ?

大学入試センター(center)は、センター試験(center exam)の「地理歴史」と「公民」を「地理歴史・公民」の1教科に統合し、その中から2科目を選択できるよう変更する方針を固めた。選択の幅を広げることで、受験生の地歴離れを防ぐことが目的。早ければ現在の高校1年生が受験する2010(平成22)年度から実施される。

大学入試センター(center)の報告によると、試験は「地理歴史・公民」の1教科を100分間か120分間で実施する。受験生は9科目から2科目を選択できるようになり、世界史と日本史を受験することも可能となる。

また、現在計6科目を3時限に分割している理科も1教科に統合すること

を発表。「地理歴史・公民」と同様の形式をとる。

文部科学省は検討中としているが、今年度内にも結論が出そう。特に高1生は、今後の動きに注意してほしい。



Science studies draw increasing attention ~ Remarkable feats show vitality of science departments and faculties

今、理系が熱い! ~理系学部、学科の躍進~

中央大学は、同大学 理工学部の山村清隆教授がIEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)主催の国際会議ICCCAS(International Conference on Communications, Circuits And Systems) 2007において、最優秀論文賞を受賞したと発表した。受賞した論文は同教授と山村研究室に所属する大学院生の執筆したもの。

7月13日にイラン(Iran)で開催した、世界の高校生が物理の学力を競い合う「国際物理オリンピック(International Physics Olympiad)」では、日本から出場した5名の高校生が金メダル(gold medal) 2名、銀メダル(silver medal) 2

名、銅メダル(bronze medal) 1名の好成績を残した。また、15日にカナダ(Canada)で開催した「国際生物学オリンピック(International Biology Olympiad)」でも、日本代表4名の高校生が銀メダル(silver medal)一つ、銅メダル(bronze medal)三つを受賞している。

こうした理系科目に興味を持つ高校生などを対象に、特別講義を実施する大学も多い。東北大学では国内初の「医工学」の研究拠点として、11月末まで「医工学」に関する講義を全7回予定している。日本の理系学部は、ますます躍進していきそうだ。

Kabuki in English!? ~ Heisei Nakamura-za's performance in New York is a smashing success ~

英語で歌舞伎を!? ~平成中村座、NY公演大成功~

歌舞伎俳優、中村勘三郎氏率いる「平成中村座」のニューヨーク(New York)公演が、7月22日に千秋楽を迎えた。

今回、中村氏は演目「法界坊」で英語の台詞に初挑戦。観客1,300人からの拍手喝采に、瞳をうるませて何度も頭を下げた。

中村氏は「演劇の本場で「イヤホン(earphone)から」解説を聞いてもらうのは失礼」と、演目自体を再編し、自身の台詞の3分の1に英語を取り入れた。また、舞台を降りて観客に話しかけるなどの新しい手法も多く取り入れ、地元新聞をはじめ各方面から絶賛された。

来年の夏には初のヨーロッパ(Europe)公演、再来年にはアメリカツアー(US tour)が構想

されているという。日本の伝統文化が国境を越え、世界の「Kabuki」になる日も遠くはない。



▲中村勘三郎氏。

©AFLO

This month's
tour
Keyword

語源はギリシャ語(Greeks)のtornos(円を描く道具)。同じ「旅」を意味する英単語もニュアンス(仏:nuance)の違いによって異なる単語で表す。tourは「回遊、周遊」といった意味。journeyは陸地での遠出の旅、voyageは水路の旅。tripは2点間の移動として使われることが多い。一般的な旅行を表すのはtravel。